



## NPO 法人東京高次脳機能障害協議会 (TKK) 五ヶ年事業計画

(於：2008年7月6日 NPO 法人設立記念 高次脳機能障害シンポジウム)

当会設立の目的を果たすため、今後5ヶ年間に次の事業の実施を計画しています。

- 高次脳機能障害者支援を推進するために、
  - 1、国や東京都へ政策や制度の改善・充実を要望・提言。
  - 2、相談支援事業およびピアカウンセリング事業。
  - 3、リハビリテーションの実践事業。
  - 4、当事者および家族会の立ち上げを支援。
  - 5、高次脳機能障害者のための支援者ネットワークを構築し、各種団体・機関が主催するイベントなどで高次脳機能障害者の支援が必要とされる時、支援者を派遣。
- 情報を収集・発信し、高次脳機能障害の啓発と理解を得るために、
  - 6、メールマガジン、刊行物、ホームページなどで情報を収集・発信。
  - 7、高次脳機能障害に関する講習会やシンポジウムなどを定期的に行う。
- 社会教育事業として、
  - 8、高次脳機能障害者のための支援者（以後、ボランティアも含みます）養成講座を、専門家およびTKK所属の当事者や家族を講師とし、定期的に行う。
  - 9、TKK所属の当事者や家族を講師として、各種団体や機関主催の講習会や研修会に派遣。
- 団体および関係者との情報交換・ネットワーク構築、
  - 10、他の障害者団体や機関と情報交換し協働して活動。

本年5月15日、東京都実態調査の結果、都内に約5万人の高次脳機能障害者がおり、毎年3千人増加していると推計されました。よって、TKKは東京都に、高次脳機能障害者支援施策のさらなる拡充を求めて、次のように要望・提言いたします。

- 1、以下のことを行う高次脳機能障害の拠点医療機関の設置。
  - ① 高次脳機能障害に関する専門性の高い研究、およびリハビリテーションの充実。
  - ② 地域資源への橋渡しをするなど家庭復帰への支援。
  - ③ 重度者の受け入れ。
- 2、高次脳機能障害者支援事業の拠点である東京都心身障害者福祉センターの、さらなる支援の拡充、
  - ① 職・就職に向けた就労支援の拡充。
  - ② 退院後の生活・社会的リハのため、更生施設の受け入れの拡充。
  - ③ 重度者の生活リハの受け入れ。
- 3、居住支援の推進。
  - ① 高次脳機能障害者のグループホームの設立支援。
  - ② 自宅、アパートなどで自立生活をするための支援。
  - ③ ショートステイや地域資源の充実による在宅生活支援。
- 4、東京都心身障害者福祉センターおよび東京都リハビリテーション病院内に、TKKと連携して相談支援事業を行うための連携支援室（仮称）の設置。
- 5、脳損傷による後遺症：高次脳機能障害が医療・福祉機関で共通して使える手帳の交付。